



# olive・heart 通信

香川大学男女共同参画推進室ニュースレター

## 香大っこルームのご案内

### ご存知でしたか…?



幸町キャンパスにある男女共同参画推進室内には、託児スペース『香大っこルーム』が併設されています。

「香大っこ」というのは、「香川大学の教職員・学生の子ども」のことです。この『香大っこルーム』を使って、教職員・学生とのお子さんを対象に、香大っこサポーターやファミリーサポート、ベビーシッター等を利用した個別の学内一時託児を、随時実施しています。

また、妊産婦の休憩スペース・搾乳室としても提供しています。ご利用希望の方は、利用申請書に必要事項を記入の上、男女共同参画推進室までご提出ください。

●香大っこルーム料金は無料（保険・託児料金は別途）

●開 室：（4月）原則平日9:00～16:00

（5月以降）原則平日8:30～17:15

※曜日・時間帯は相談に応じます。詳しくはHPをご覧ください。

<http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/>

「香大っこサポーター」とは、ボランティア学生による育児支援制度です。仕事や学業と育児との両立をみんなで力を合わせてサポートし、香大っこを育てていこうという取り組みです。

具体的には、託児に関する講習と実習を受けた学生が、学内での短時間預かり保育や、休日出勤時の託児等を行ったり、サマースクールなどの香大っこのためのイベントを実施しています。

この制度は、平成22年度より実施しており、現在は45名の学生が登録しています。ちなみに、香大っこルームで香大っこサポーターによる託児を利用する場合は、託児料金は1時間500円です。



### 目 次：

香大っこルームのご案内.....	P1
農学部 収穫祭相談コーナー 報告.....	P2
国際論文投稿セミナーⅠ・Ⅱ 報告.....	P3
センター入試時の託児・ ハラスメント防止講座 報告.....	P4
子ども支援に関わる専門職・女性 研究者育成支援セミナー 報告.....	P5
あなたのための介護コンシェル ジュ 報告.....	P6

推進室の取り組みや、農学部での取り組みを、パネルで紹介しました。

## 報告① 2015.11.3 農学部 収穫祭にて相談コーナーを設置

11/3(火)に収穫祭を訪れる中高生・保護者にむけて、大学院生が窓口立ち、中高生が相談しやすい窓口を設置しました。男女共同参画推進室員の協力のもと、生き生きと研究に取り組む大学院生たちに出会い、学部の様子や研究の一端に触れることで、進路の選択の幅を広げる機会とする目的で毎年実施しています。



10:00~15:00の間、池戸会館学生・教職員交流ラウンジにて、4人の大学院生が窓口立ち、男女共同参画推進室相談コーナーを開催しました。

今年は17名の高校生の訪問があり、大学院生が相談員として、高校生・保護者らに大学生活についての説明を行いました。高校生からは、学部や研究室、大学後の将来のことや、受験勉強のポイント、入試問題についてなど、様々な相談がありました。アンケート結果によると、ほとんどの高校生が「良かった!」と回答しており、満足度は非常に高いものとなりました。

今年は1階での開催となったおかげで、パネル展示にもたくさんの人に足を止めていただき、訪れた高校生からは、進路の参考になったと、非常に好評でした。



▲男女共同参画推進室の取り組みを紹介したパネル



▲農学部での取り組みを紹介したパネル

### アンケート結果 (一部)

Q.どこから来ましたか?



Q.相談コーナーを訪れた感想 (一部抜粋)

- 様々な学部に行って話を聞きたいと思いました。
- 先輩の話を聞いてとても参考になりました。
- 大学での様子がとてもよく分かりました。質問にも細部にわたり、丁寧に教えて頂きました。
- 農学部についてよく分かって勉強のはげみになりました。
- 入学できるように、今がんばりたい。
- 大学生の先輩と話すことが出来て楽しかったです。ありがとうございました!!
- 大学が楽しそうで励みになりました。



## 報告② 2015.12.16-17 国際論文投稿セミナー I・II 開催

12月16日(水)17日(木)、これから英語論文を国際誌へ投稿しようとする若手研究者・女性研究者・大学院生を対象に、自らの研究を正しく国際的に発信することができるよう支援することを目的とした、国際論文投稿セミナーを、幸町キャンパスと医学部キャンパスの2ヶ所で開催しました。

### 国際論文投稿セミナー I 幸町キャンパス

- 日 時：12月16日(水) 15:00~17:00
- 場 所：幸町キャンパス 経済学部 講義棟第11講義室
- 参加人数：37名

12月16日(水)、経済学部 講義棟第11講義室にて国際論文投稿セミナー I を開催しました。経済学部 宮崎 浩一 准教授、上智大学 ミハヤエル・ブルチャー氏、また、エルゼビア・ジャパン(株)より高石 雅人氏をお呼びし、英語論文作成のポイントや、英語論文執筆時の抄録・参考文献データベースの活用方法等、その他様々な事例についてお話いただきました。



▲国際論文投稿セミナー I の様子

### アンケート結果(一部)

#### Q.感想と、印象に残った点(一部抜粋)

- ・予定が合わず学会等で同様のセミナーにあまり参加できなかったため、学内でやって頂けて参考になりました。
- ・自分自身初めてこのようなセミナーに参加し、様々な事例を聞くことが出来て役に立ちました。

### 国際論文投稿セミナー II 医学部キャンパス

- 日 時：12月17日(木) 17:30~19:30
- 場 所：医学部キャンパス 医学部臨床講義棟1階講義室
- 参加人数：64名

12月17日(木)、医学部 臨床講義棟 1階講義室にて国際論文投稿セミナー II を開催しました。医学部 門脇 則光 教授、同じく医学部 井町 仁美 准教授、国際論文投稿セミナー I より引き続き、エルゼビア・ジャパン(株)高石 雅人氏をお呼びし、ご講演いただきました。様々な事例を取り上げてお話下さったり、論文を書く・投稿するうえでの注意点、また、海外での体験談等、幅広くお話いただきました。



▲国際論文投稿セミナー II の様子

### アンケート結果(一部)

#### Q.感想と、印象に残った点(一部抜粋)

- ・論文作成のポイントを分かりやすく教えていただきありがとうございました。
- ・井町先生の海外での豊富なご経験に感銘を受けました。とても面白いプレゼンでした。門脇先生は分かりやすい例を使って説明していただけて、クリアになりました。



### 報告③ 2016.1.16-17 センター入試時の託児を実施しました。

1/16(土)・1/17(日)のセンター入試時に、入試業務に携わる教職員を対象に、休日出勤時の託児を、医学部キャンパス(あかつき荘)と幸町キャンパス(薬王寺)の2ヶ所で行いました。

託児人数	幸町	あかつき荘
1/16(土)	5	2
1/17(日)	5	6
合計	10	8

託児ボランティアあゆみの協力のもと、2日間2ヶ所あわせて、18名のお子さまをお預かりしました。また、学生ボランティアである香太っこサポーターからも、10名のサポーターが託児に参加しました。

利用者からは、お礼のメールをいただくことができ、お役に立てて本当に良かったと感じました。

### 報告④ 2016.1.22 ハラスメント防止講座の開催

○日 時：1月22日(金) 9:00~10:20  
 ○場 所：幸町キャンパス 南1号館E31講義室  
 ○参加人数：88名



1/22(金)、ご自身に性犯罪被害の経験がある、小林美佳さんをお招きし、性犯罪が被害者にもたらす様々な深刻なダメージ、また、周囲の人たちと被害に遭われた方たちの関わり方などをお話いただきました。

実際に事件として表に出る性犯罪は氷山の一角であり、被害に遭っても誰にも打ち明けられず、むしろ「知られたくない、言えない、恥ずかしい」という思いから、「言わない」ことを選択する被害者も少なくないそうです。しかしその反面、他者に理解を求めながらも、信じることが出来ず苦しんでいる被害者が多いのが現実です。小林さんが大変な心理的負担を強いられながらも活動されているのは、このような性犯罪等で苦しむ人を一人でも減らしたい、という思いからです。

小林さんだからこそその強い思いや、ひとつひとつの言葉により、聴いているこちらが身を引き裂かれるような思いがしました。この時・この場所でしか聴けなかった言葉、多くを考えさせられる大変貴重な講演となりました。

#### アンケート結果(一部)

#### Q.講座の感想・ご意見など(一部抜粋)

- ・最後におっしゃった、「一人が一人を支える」という話に、まず理解をすべきは聞きに来た私だ、と思いました。
- ・法を学ぶ者として、犯罪の防止ばかりに目が行きがちですが、被害者の支援も大切であると思いました。
- ・性犯罪について考えるきっかけになった。今まで自分が考えていたことがいかに小さな軽いものだったか思い知った。
- ・実際に話を聞いて、性犯罪の被害者が望んでいるのは、犯人が捕まることよりも、性犯罪について理解してくれること、自身と向き合ってくれることだということ強く学んだ。

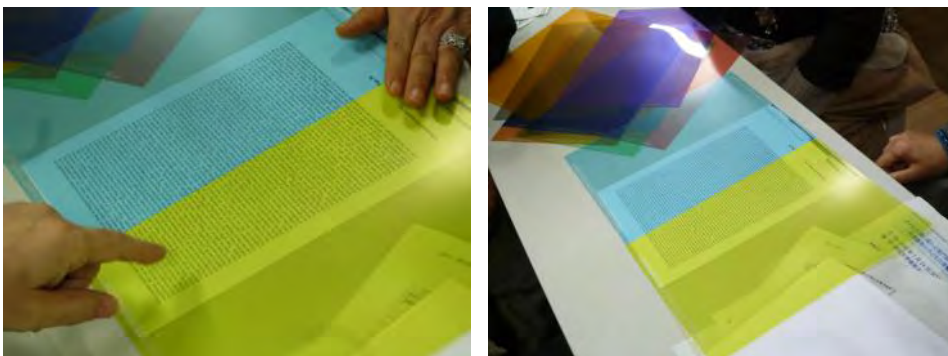


▲ハラスメント防止講座の様子

## 報告⑤ 2016.1.24 子ども支援に関わる専門職・女性研究者育成支援セミナーの開催

○日 時：1月24日（日）13：00～15：30  
 ○場 所：幸町キャンパス オリーブスクエア2F多目的ホール  
 ○参加人数：55名

1月24日（日）、発達障害等の子ども支援に従事する専門職の方々や、当該分野を研究対象とする若手研究者や女性研究者の育成および支援の契機として、筑波大学より熊谷恵子教授をお招きし、「子ども支援に関わる専門職・女性研究者育成支援セミナー～発達障害の子どもの理解と支援に焦点をあてて～」を開催しました。



▲白い紙に黒い文字。その組み合わせが、誰もが見やすい、もしくは読みやすい組み合わせでは必ずしもありません。この演習では、カラーフィルムを使い、それぞれどの色がベースにあると文字が読みやすいのかを検証しました。

発達障害の子どもに限らず、学習スタイルなどは人それぞれにあり、それぞれに適した形を探し、その子に合った学習スタイルで授業や支援を行うことが大切であるなど、指導する側にとっても大変参考になる講演となりました。

### アンケート結果（一部）

#### Q.セミナーの感想・ご意見など（一部抜粋）

- ・学習スタイルなどは人それぞれにあり、みんな違うけどそれぞれに適したやり方でやっていく、また、教師側はそれを見つけてあげるといことが大切なのだと思います。
- ・「自分も特性があること、そして子どもにもそれぞれ特性があり、それは同じではない」ということを念頭に置いて対応していくことの大切さを改めて感じさせられた。
- ・職場の先生方に、本日学ばせていただいたことを広めたいと思います。
- ・実際にカラーフィルムを通して字を見ることで、何もしない時よりも見やすいことが分かった。感覚の過敏性はなかなか周囲には分かりにくいので、本人から詳しく聞くことが大切だと思った。色んな視点を持って、授業や支援を行うことが大切だと思った。
- ・とても分かりやすかったです。どのクラスにも発達障害の疑いのある児童がおり、個々のケースに応じた対応が大切だと思います。けれど、発達障害について研修を受ける機会があまりなく、参考になりました。ありがとうございました。

筑波大学科学研究費助成事業・平成27年度助成1次公募競争型研究費助成事業（特別型）助成  
**子ども支援に関わる専門職・女性研究者育成支援セミナー  
 ～発達障害の子どもの理解と支援に焦点をあてて～**

日 時：2016年1月24日（日）13:00-15:30（12:30開場）  
 場 所：香川大学幸町キャンパス  
 オリーブスクエア2F多目的ホール

◆参加費無料・事前登録制（定員100名）

13:00 -13:10	開会の挨拶	熊谷 恵子 副学長	
13:10 -15:10	発達障害の子どもの理解と支援 ～発達障害の子どもの理解と支援に焦点をあてて～ の演習による	熊谷 恵子 教授 筑波大学人脈系	
15:10 -15:20	質疑応答		
15:20 -15:30	閉会の挨拶	熊 良枝 香川大学初等教育研究部 教職開発部長	

主 催：香川大学男女共同参画推進部、香川大学初等教育研究部、香川大学大学院教育学部  
 後 援：香川県の学校教員研究会

共催：筑波大学男女共同参画推進部  
 〒700-8521 香川県高松市東町1-1 北5号館  
 TEL:087-822-1100 FAX:087-822-1021 E-mail:camp@sci.kanriw-u.ac.jp



▲熊谷 恵子先生



▲悪天候の中、たくさんの方にご参加いただきました。



## 報告⑥ 2016.2.16 香川大学女性研究者支援シンポジウム「あなたのための介護コンシェルジュ」開催

○日 時：2月16日（火）15：00～17：30  
 ○場 所：幸町キャンパス 研究交流棟6F 第1講義室  
 ○参加人数：43名

2月16日（火）、香川大学女性研究者支援シンポジウム「あなたのための介護コンシェルジュ」を開催いたしました。

〈第一部〉基調講演では、長崎大学 ダイバーシティ推進センターより、センター長である伊東昌子氏と介護コンシェルジュの内野睦美氏をお呼びし、また、〈第二部〉「香川大学における介護休暇・介護休業に関するガイダンス」では、給与福利グループより田中正昭リーダー、パネルディスカッションではパネリストとして、医学部看護学科 清水裕子教授（兼パネルコーディネーター）、工学部 中西俊介学部長、工学部 岩本直樹教授にご参加いただきました。

伊東昌子氏、内野睦美氏には、長崎大学での取り組みについてお話いただきました。現在、長崎大学では「長崎大学ワークスタイルイノベーション」（働き方見直しプログラム）や、「ライフイベントサポートプログラム」と名付け、介護の状況やステージによって、介護コンシェルジュが個別に対応・支援を行うことができる窓口を設置するなど、多岐にわたり様々な取り組みを行い、また、構築中であるとお話いただきました。

「香川大学における介護休暇・介護休業に関するガイダンス」では、給与福利グループ 田中正昭リーダーが、制度について分かりやすく解説してくださいました。しかし、制度はあれど、あまり利用されていないのが現実のようで、そのほとんどが年休を利用し、介護に取り組んでいるとのことでした。

パネルディスカッションでは、清水裕子教授、中西俊介学部長、岩本直樹教授それぞれの、ご自身が実際に体験された介護に関するお話や、介護に対する考え方などをお話くださいました。

自分が介護をする立場になったとき、まず何をすれば良いのか、どこに相談をすれば良いのか、きちんと制度を理解し正しく利用することができるか…。今はまだ先の話かもしれないが、今から「知っておく」ことだけでも、それはとても大切なことだし、また、少しでも心構えもでき、家族だけで抱え込む、ということもなくなるのではないかと感じました。



香川大学 男女共同参画推進室

香川県高松市幸町1-1 北5号館1階

TEL：087（832）1055  
 内線：1055  
 FAX：087（832）1057

<http://www.kagawa-u.ac.jp/sankaku/>

[sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp](mailto:sankaku-room@ao.kagawa-u.ac.jp)



▲内野睦美 介護コンシェルジュ



▲伊東昌子 センター長



▲シンポジウムの様子



▲パネルディスカッションの様子